

3 危険なサイン

大腸がんは早期の段階では症状がほとんどありませんが、以下のような症状（サイン）が現れた場合は、大腸がんを疑って医療機関で検査を受けましょう。

- 便に血や粘液が混じったり、下血したりする（痔と自己判断しないこと）
- 下痢と便秘を繰り返す（便通異常）
- 残便感がある
- 腹部に膨満感がある
- 腹痛がある
- 肛門痛がある
- 腹部にしこりがある
- 腹鳴（おなかが鳴ること）がある
- 便が細くなった
- 貧血症状が続く
- 治りにくい痔がある

次のような人も検診を受けることをお勧めします。

- 10年以上、潰瘍性大腸炎にかかっている
- 家族の中に大腸がんにかかった人がいる
- 大腸ポリープが見つかったことがある